

## 網走市新庁舎建設に係る説明会 議事録

説明先：市内団体

開催日時：令和元年6月26日（水）18時30分～19時00分

説明会場：エコーセンター

出席者：20名

**Q1. 津波に対して心配である。30年ほど前に市役所前の工場が流された経過がある。網走小学校は高台にあり、児童は減少していることから、グラウンドに建設しても良いのではないか？**

- 気象台の過去約100年の記録では、網走では震度3以上が19回、そのうち震度4が3回、津波は過去1300年被害はない。北海道総合研究機構の調査ではオホーツク海側では4000年被害がないことがわかっており、網走市は災害の少ない街であると考えられている。しかし、想定外のこともあることから対策を講じる必要があると考えている。
- 津波の心配はなくなるが、グラウンドを廃止して庁舎建設敷地とするには、教育施設であることから多くの協議や手続きが必要となり時間がかかる。
- 国の支援制度を活用するための時間的制約や都市計画、交通利便性等を総合的に判断すると候補地として適地とは言えない。

**Q2. この説明会での市民意見はどのように反映されるのか？**

- 説明会は各地区町内会や老人クラブ、高齢者ふれあいの家、宅配トークなどで7月末を目途に開催して意見を伺いたい。出された意見は基本構想策定検討委員会に報告して、検討していただく。

**Q3. 金市館ビル跡地では想定として何階建てになるのか？**

- 人口減少に伴い、将来的に適正な市職員数を検討しなければならないと思っている。庁舎も必要なものは維持し、省けるものは圧縮するよう検討する。
- 5条側駐車場の市有地に庁舎を建設してはどうかと考えており、敷地面積や津波の一時避難ビルとしての機能を考慮しながら今後の検討となる。